

# 「社会資本整備」と「農業の振興」など

## ～新しいステージへ 夢と希望のある町を～



新しい文化的施設のイメージ

4月23日に行われた茨城町長選挙で、現職の小林宣夫町長が5期目の当選を果たした。小林町長は選挙戦で「新しいステージに向け、夢と希望のある町を」を掲げ、町のさらなる発展に向けた取り組みの推進を主張。5期目の初登壇では「自然と新創を踏襲するのではなく、常に模索し、前向きに新しいことにチャレンジしてほしい」と職員に訓示した。小林町長に5期目の町政について話を聞いた。

「これまでの4期を振り返ってほしい」という問いに、小林町長は「あつという間の4期16年だったというのが正直な感想だ。初登壇した16年前、全国各地で市町村合併が行われていた。本町は財政危機にあり、近隣自治体との合併の話が進んでいたが、私は行財政改革を行えば合併しなくても単独でやっていけると確信していた。選挙戦では町民の皆さまに町の財政状況を明らかにし、大型の公共投資はしばらくできないと説明させていただいたことを覚えてほしい。そして、2007年4月

### 文化的施設は来年度着工



#### ◆プロフィール◆

小林 宣夫 (こばやし のりお)  
1947年5月26日生まれ。76才。県立水戸商業高等学校卒業。66年に同町へ入庁し、町総務課長、教育次長、収入役などを経て、2007年の町長選挙で初当選。4月の町長選では6579票を獲得し、5選を果たした。

### 入札制度 町内業者育成を優先

11年3月11日に東日本大震災が発生した。すぐに災害本部を立ち上げ、避難所を設置するなどして対応したが、水道がストップしたり、道路のあちこちが陥没したりして、涸沼川に架かる橋梁も被害を受けて通行できなくなっていた。中でも社会資本である道路の整備は、特に国を入れた項目だ。町内の国道6号は4車線化が終わっていない箇所があり、経済発展の阻害要因にもなっている。引き続き早期の整備を国に働きかけていく。

また、町内には県道14本、延長約100kmが通っており、狭いながらも歩道が設置されている箇所もある。町長就任以来、要望を続けてきて、ようやく多くの箇所で事業化が進んできた。引き続き県へ要望していきたい。特に大洗支線バスについては、一刻も早い完成を期待している。これができるのは茨城中央工業団地方面へのアクセスが飛躍的に改善される。町民の安全・安心はもとより、物流や経済にも良い影響を与えるだろう。

町道については、13年から進めてきた120号線(中石崎地内、1.405km)が年内に開通する見通しだ。整備により災害時における地域間の交通・物流の確保、涸沼自然公園へのアクセス向上などが見込まれる。

また、1430号線への自転車道整備も計画している。区間はメモリアルホール涸沼浄化センターの延長約900m(W2.5m)。今後、矢羽根やピクトグラムなどを発注していく。

新たな文化的施設の見通し  
本町の文化的施設は、中央公民館大ホールが東日本大震災の影響で使用できなくなり、県養鶏試験場跡地を取得して新施設を建設する計画だった。しかし、東京オリンピックなどの影響で資材単価が高騰し、事業費が膨らんだため、一旦凍結するつもりだ。

その後、計画を見直し、中央公民館大ホールを解体した跡地に建設することになり、現在は実施設計を進めている。順調ならば来年度から2カ年で建設する見通しだ。25年度中に完成する見通しだ。私は文化をとても大切なものと見てきた。



地元建設業へメッセージ

「入札制度について、私が第一に考えているのは町内業者の育成だ。10年度から建設業者への表彰制度を開始し、工事成績や出来栄、創意工夫などに優れた町内業者を表彰している。現在は原則として1件につき設計金額が400万円以上の建設工事でも一般競争入札を実施しているが、これからは町内業者を最優先とし、大切にしていきたい。

また、国営緊急農地再編整備事業による、ほ場整備も進んでいる。水稲から畑作へ転換することでネギなどの高収益作物の栽培が可能となり、農家の所得も向上するだろう。今後も農業の省力化、効率化、高収益化に取り組んでいきたい。

「入札制度について、私が第一に考えているのは町内業者の育成だ。10年度から建設業者への表彰制度を開始し、工事成績や出来栄、創意工夫などに優れた町内業者を表彰している。現在は原則として1件につき設計金額が400万円以上の建設工事でも一般競争入札を実施しているが、これからは町内業者を最優先とし、大切にしていきたい。

また、国営緊急農地再編整備事業による、ほ場整備も進んでいる。水稲から畑作へ転換することでネギなどの高収益作物の栽培が可能となり、農家の所得も向上するだろう。今後も農業の省力化、効率化、高収益化に取り組んでいきたい。

「入札制度について、私が第一に考えているのは町内業者の育成だ。10年度から建設業者への表彰制度を開始し、工事成績や出来栄、創意工夫などに優れた町内業者を表彰している。現在は原則として1件につき設計金額が400万円以上の建設工事でも一般競争入札を実施しているが、これからは町内業者を最優先とし、大切にしていきたい。

また、国営緊急農地再編整備事業による、ほ場整備も進んでいる。水稲から畑作へ転換することでネギなどの高収益作物の栽培が可能となり、農家の所得も向上するだろう。今後も農業の省力化、効率化、高収益化に取り組んでいきたい。

## 地域雇用と地域経済を支え、茨城町の発展に貢献します

茨城町内企業(50音順)

(株) 関根電気 代表取締役 関根 敏政 〒311-3114 茨城町大戸869-2 TEL 029-292-0487 FAX 029-292-9121	(株) 進栄建設 代表取締役 田家 美智也 〒311-3141 茨城町神谷779-10 TEL 029-292-2611 FAX 029-292-8171	(株) 五建興業 代表取締役 高根澤 和人 〒311-3137 茨城町綱掛30 TEL 029-293-9525 FAX 029-293-6302	(株) 共進サービス 代表取締役 金本 善基 〒311-3114 茨城町大戸1779-14 TEL 029-292-7893 FAX 029-292-7943	(有) 浦井工務店 代表取締役 浦井 安正 〒311-3116 茨城町長岡1797 TEL 029-292-0224 FAX 029-292-0422	宇野建設工業(株) 代表取締役 宇野 健司 〒311-3135 茨城町海老沢6 TEL 029-293-6008 FAX 029-293-9755
長谷川電設工業(有) 代表取締役 長谷川 嘉則 〒311-3146 茨城町下座631 TEL 029-292-8054 FAX 029-292-7436	長谷川建設(株) 代表取締役 長谷川 保 〒311-3107 茨城町小籠1393 TEL 029-292-7311 FAX 029-292-7312	(有) 根崎工務店 代表取締役 根崎 敬一 〒311-3107 茨城町小籠2009 TEL 029-292-0583 FAX 029-292-9600	(有) 戸塚組 代表取締役 戸塚 正直 〒311-3147 茨城町秋葉1066-2 TEL 029-292-0266 FAX 029-292-8797	(株) 高木工務店 代表取締役 高木 孝之 〒311-3131 茨城町小堀372 TEL 029-292-1408 FAX 029-292-1648	大昭工業(株) 代表取締役 木村 晃 〒311-3116 茨城町長岡370 TEL 029-292-1504 FAX 029-292-8347
地域の守り手として その役割を果たします 茨城町建設関連企業一同	(株) 柳田組 代表取締役 柳田 洋一 〒311-3107 茨城町小籠1357-3 TEL 029-292-6103 FAX 029-292-9294	六美建設(株) 代表取締役 清水 慎一 〒311-3116 茨城町長岡1798 TEL 029-292-0325 FAX 029-292-1616	(株) 松浦工務店 代表取締役 松浦 義文 〒311-3131 茨城町小堀1743-1 TEL 029-292-0069 FAX 029-292-0122	(株) 涸沼建設工業 代表取締役会長 野口 秀英 代表取締役 田中 弘美 〒311-3122 茨城町上石崎3948 TEL 029-293-7607 FAX 029-293-7620	林建設工業(株) 代表取締役 井能 広美 〒311-3131 茨城町小堀163 TEL 029-292-2555 FAX 029-292-2836